

## 温もりと開放感に満ちた益城中央小学校新校舎

### 木の香りと 温もりのある校舎内

益城中央小学校では、3月8日から新校舎での生活が始まりました。

子どもにとって学校生活のベースとなる教室は全学年1階にあり、低・中・高学年の三つのエリアに分かれています。南側の窓は高く、多くの光が教室に入るようになっています。空気の流れを作り、熱い空気が上に抜けるように天井にはこう配が付けてあります。また、教室の前の廊下は広く、いろいろな活用がで



教室の前に広がるワークスペース



普通教室での授業

きるようにしてあります。廊下と壁には県産の杉板が使用されており、木の香りと温もりを感じられ、ゆとりある広い造りと相まって、子どもたちが伸び伸びとした心で生活できるような開放感があります。建物の中心にある職員室は、児童の昇降口に面したところがガラス張りです。登下校する児童の様子がみられるようになっていきます。昇降口を入ったところには益城町の子どもの成長と町民の幸福、ひいては町の発展の願いがこめられた川崎のぼる氏の原画を元に作成された「童が飛翔している」大きいレリーフがあ

ります。児童はこの「飛翔している童」を毎日見ながら登下校することになります。

### 車椅子の子どもにも 配慮した設計

2階には図書室・音楽室・理科室・家庭科室・パソコン室および多目的スペースがあります。階段のほかに1階と2階をつなぐスロープが取り付けられており、渡り廊下の段差もなく車椅子の子どもがどこにでも移動できるようにしてあります。

特別支援教育については、子どもの実態に応じた支援や相談がしやすいように3つの教室のほかに2つの通級室と



多目的スペースでの音楽の授業



特別支援学級教室

2つの相談室が設けられています。

体育館は校舎の東側にあり、南側には運動場そして運動場の西に体育倉庫と屋外トイレ、東にはプールと相撲場があります。まだ植樹が少なく緑はありませんが、これから花や木などが植えられ、美しい校庭になっていくことだと思います。

無限の可能性を持っている子どもたちが、この新しい校舎で夢と希望を持って前進し、将来の益城町ひいては世界へ羽ばたき活躍する人材に育つことを心から願っています。

(文責・教育委員 藤田享幸)